

第8回全国書写書道伝統文化大会
令和元年度全国年賀はがきコンクール

【大 賞】

大阪府・早稲田摂陵高等学校2年
植田 惇平

大学受験と書道の両立を目指します

この度は「大賞」という素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。
久しぶりに上位賞をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。

来年は高校3年生として大学受験に本腰を入れて頑張ろうと考えているので、今回の年賀はいつも以上に練習に力を入れました。その中でも難しかったのは、特に漢字と平仮名の大きさの違いを出すことと真っ白な紙面に行間の配分をバランスよくして余白を生かすことの2点です。

まず、漢字は上の文字をしっかりと見て行の中心を捉えます。大字の「謹賀新年」のバランスが崩れると残りの行が上手くできても全体が締まりません。平仮名は漢字よりも幅を小さく整え、連綿を大事に意識して書きました。普段の癖からか、左払いが短いと注意されることも多く、日頃から文字の幅も整えて書かないといけないなあと改めて感じました。

次に、余白を生かすということですが、上下左右と氏名・落款印の位置を明確にする作業が必要となりました。仕上げる際は、額縁に入れて完成するような、余白の取り方が良い作品にしようと思っています。今回は、ペンを握る手がもうつらいと思うくらいまで、何度も書き直しました。

その結果として、今回の受賞は次への自信にもつながり、感謝しています。

高校3年生になると、練習時間が限られる中でいかに集中し、納得いく作品ができるかが重要だと思います。受験勉強と書道の両立ができるように、これからも頑張っていこうと思います。